

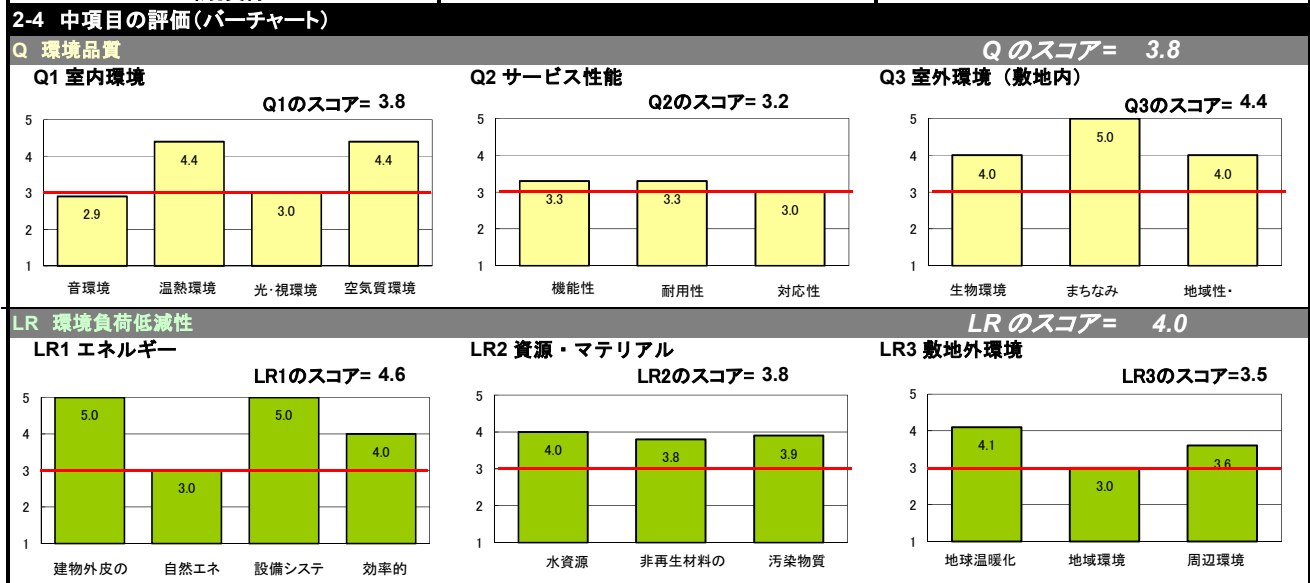
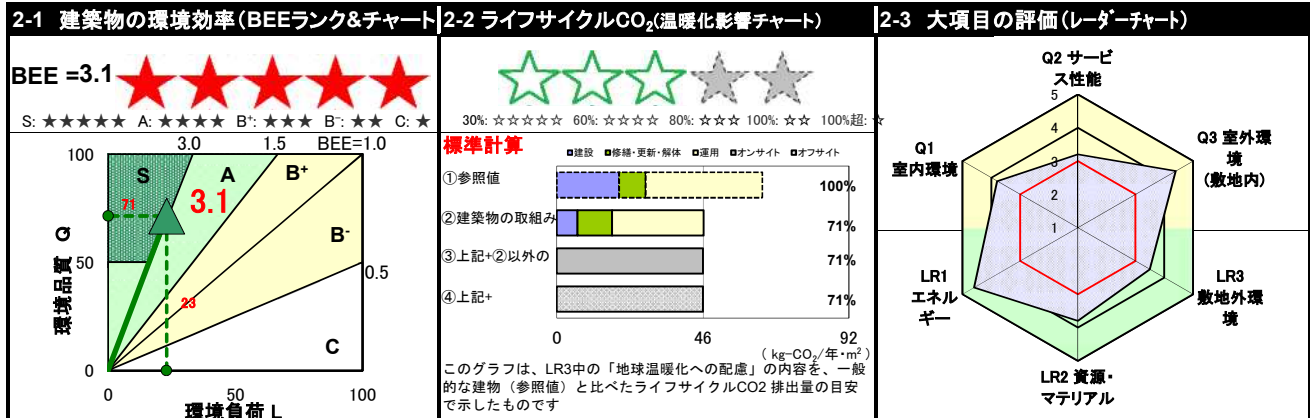
CASBEE®-建築(新築)

評価結果

■ 使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2021年SDGs対応版 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2021SDGs(v1.2)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)市営若草住宅建替事業	階数	地上11F 地下0F
建設地	兵庫県尼崎市西川1丁目97番1の	構造	RC造
用途地域	第1種住居地域	平均居住人員	978 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2026年3月 予定	評価の実施日	2024年9月2日
敷地面積	11,675 m ²	作成者	株式会社市浦ハウジング&プランニング
建築面積	3,743 m ²	確認日	2024年9月2日
延床面積	23,219 m ²	確認者	株式会社市浦ハウジング&プランニング

外観パース等

図を貼り付けるときは
シートの保護を解除してください

3 設計上の配慮事項		
総合 ZEH-M強化外皮基準の外皮性能をもたせることで省エネルギー性の高い快適な室内環境を整えられるよう努めた。		その他 特になし。
Q1 室内環境 F☆☆☆☆をほぼ全面的に採用し、さらにホルムアルデヒド以外のVOCについても放散量が少ない建材を全面的に採用し、室内環境に配慮した。	Q2 サービス性能 耐用年数の長い配管を採用して更新必要間隔を長くするように努めた。	Q3 室外環境(敷地内) 敷地内には適切に緑化を施すことで地表面温度上昇を極力抑える計画とした。駐車場は車路、駐車区画部分共に透水性舗装とすることでヒートアイランド現象を抑制している。
LR1 エネルギー 適切な断熱材を施し外皮の熱負荷抑制に努め、またLED照明など高効率な設備を採用し省エネルギーに配慮している。	LR2 資源・マテリアル 木下地を採用し、分別を容易にすることで部材の再利用可能性向上への取り組みをしている。	LR3 敷地外環境 ライフサイクルCO ₂ 排出率を抑制し、地球温暖化に配慮した。

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■ Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される